

中国四国 J-クレジット制度オンライン勉強会 (バイオ炭の農地施用)

備後圏域でのリン吸着バイオ炭 (プライムカーボン®) による
脱炭素・資源循環モデルの構築とJ-creditのプログラム型
プロジェクト運営を目指す取り組み事例のご紹介



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

We Build ECO
Daiwa House Group®



2025年 12月
株式会社フジタ

開発のコンセプト

バイオ炭
CARBON NEGATIVE

×

リン資源循環
CIRCULAR ECONOMY



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

気候
危機

カーボンニュートラルから、さらに先のカーボンネガティブの実現

カーボンニュートラルな木質ガス化発電

発電後副生するバイオ炭を農地等に炭素貯留することでカーボンネガティブを実現

食料
危機

資源
循環

食料安全保障のための安心 安全な循環型リン資源の確保

我が国の食料自給率は38%、作物生産に必要な化学肥料原料自給率はほぼ 0%

特にリンは鉱物で枯渇化資源、世界情勢不安定化により、肥料価格急騰

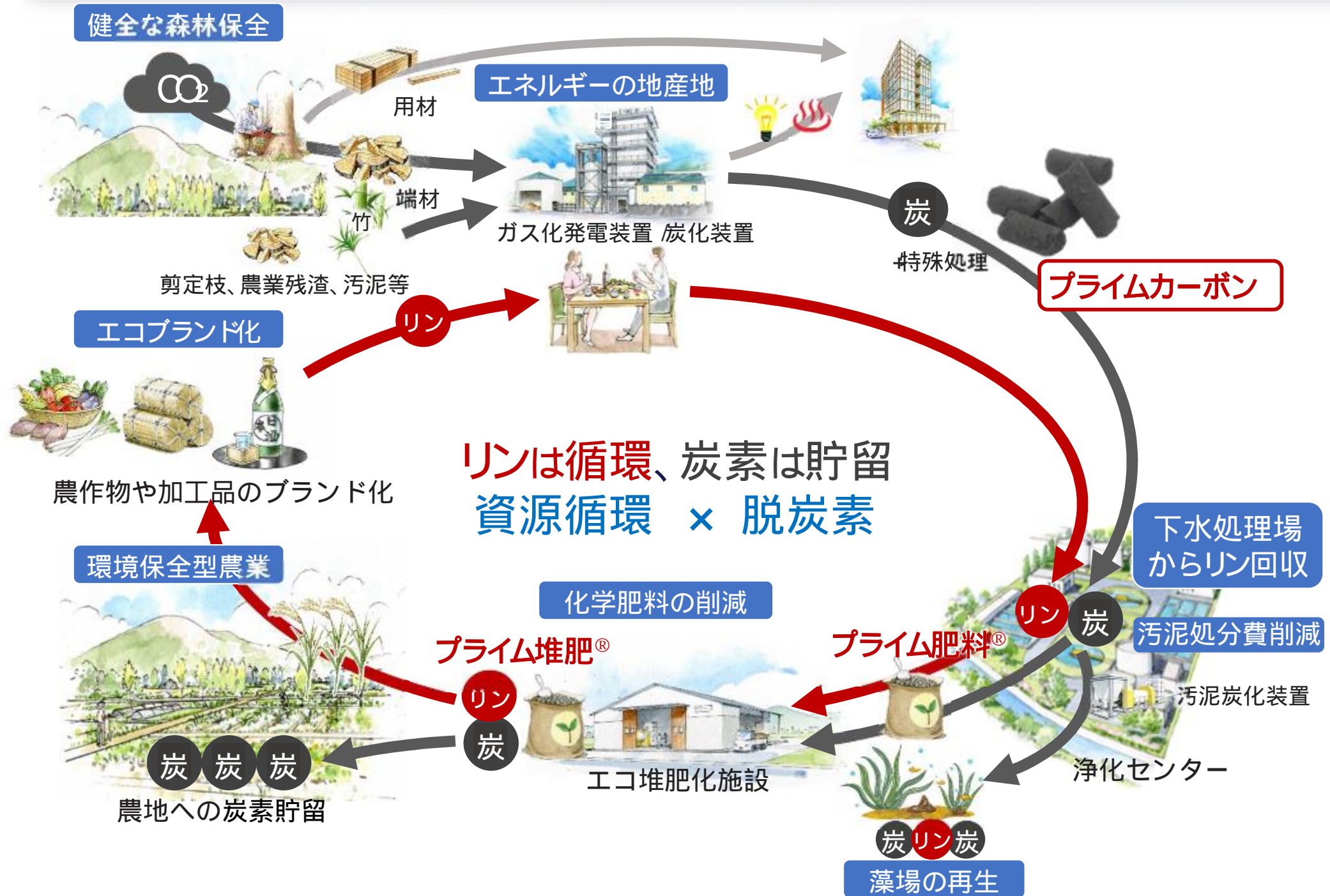
SDGs

森林、水環境、エネルギー、農業のサステナブルの実現

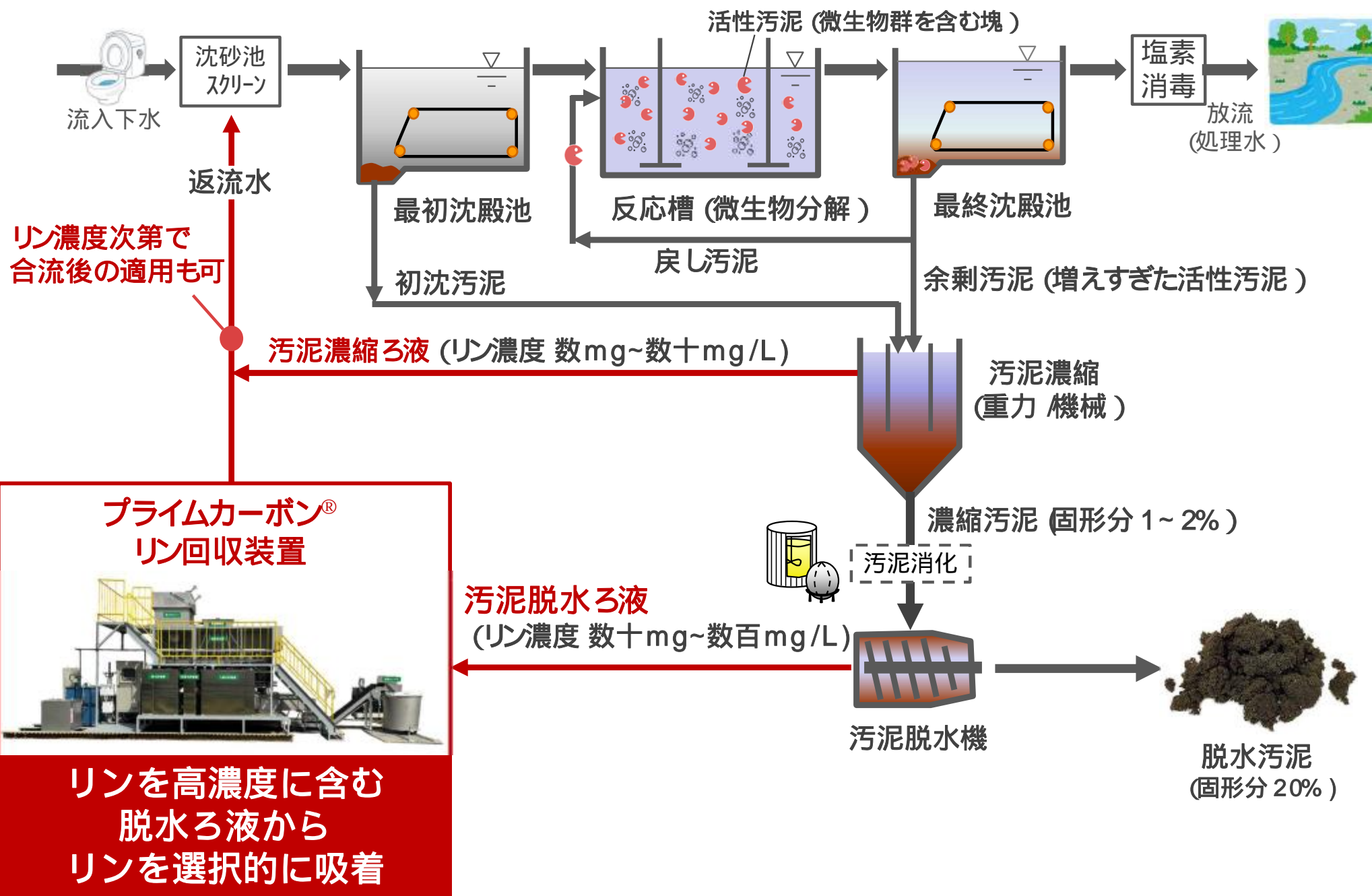
リンの流出による海や湖の赤潮・アオコの防止

健全な森林経営（間伐・植林）、環境保全型農業の実現

本技術のコンセプト図



下水処理プロセスへの適用について



プライム肥料®の組成 (有効成分)

〈溶性りん酸 (保証成分) が肥料規格を満たし

苦土や窒素などの肥料成分も含み、緩効性成分が高いことが特徴

肥料登録証

登録証

氏名又は名称及び住所
東京都新宿区西新宿四丁目32番22号
株式会社フジタ

登録番号 生第 108656 号
登録年月日 令和 6 年 4 月 25 日
登録の有効期限 令和 9 年 4 月 24 日
肥料の種類 副産肥料
肥料の名称 プライム肥料1号

保証成分量 (%) <溶性りん酸> 2.0

その他の規格 普通肥料の公定規格中副産肥料の「含有を許される有害成分の最大量」及び「その他の制限事項」とおり。なお、登録有効期間が3年となる要件に該当する。

肥料の品質の確保等に関する法律第7条の規定に基づき上記のとおり登録したことを証する。
令和 6 年 4 月 25 日
農林水産大臣 坂本 哲志

管理番号 319-1070000645788

プライム肥料 1号 (石垣市)
令和 6 年 4 月 25 日
肥料登録

肥料登録証

登録証

氏名又は名称及び住所
広島県福山市古野上町15番25号
福山市上下水道局

登録番号 生第 109422 号
登録年月日 令和 7 年 4 月 10 日
登録の有効期限 令和 10 年 4 月 9 日
肥料の種類 副産肥料
肥料の名称 プライム肥料2号

保証成分量 (%) <溶性りん酸> 1.5

その他の規格 普通肥料の公定規格中副産肥料の「含有を許される有害成分の最大量」及び「その他の制限事項」とおり。なお、登録有効期間が3年となる要件に該当する。

肥料の品質の確保等に関する法律第7条の規定に基づき上記のとおり登録したことを証する。
令和 7 年 4 月 10 日
農林水産大臣 江藤 拓

管理番号 076-983000877223F

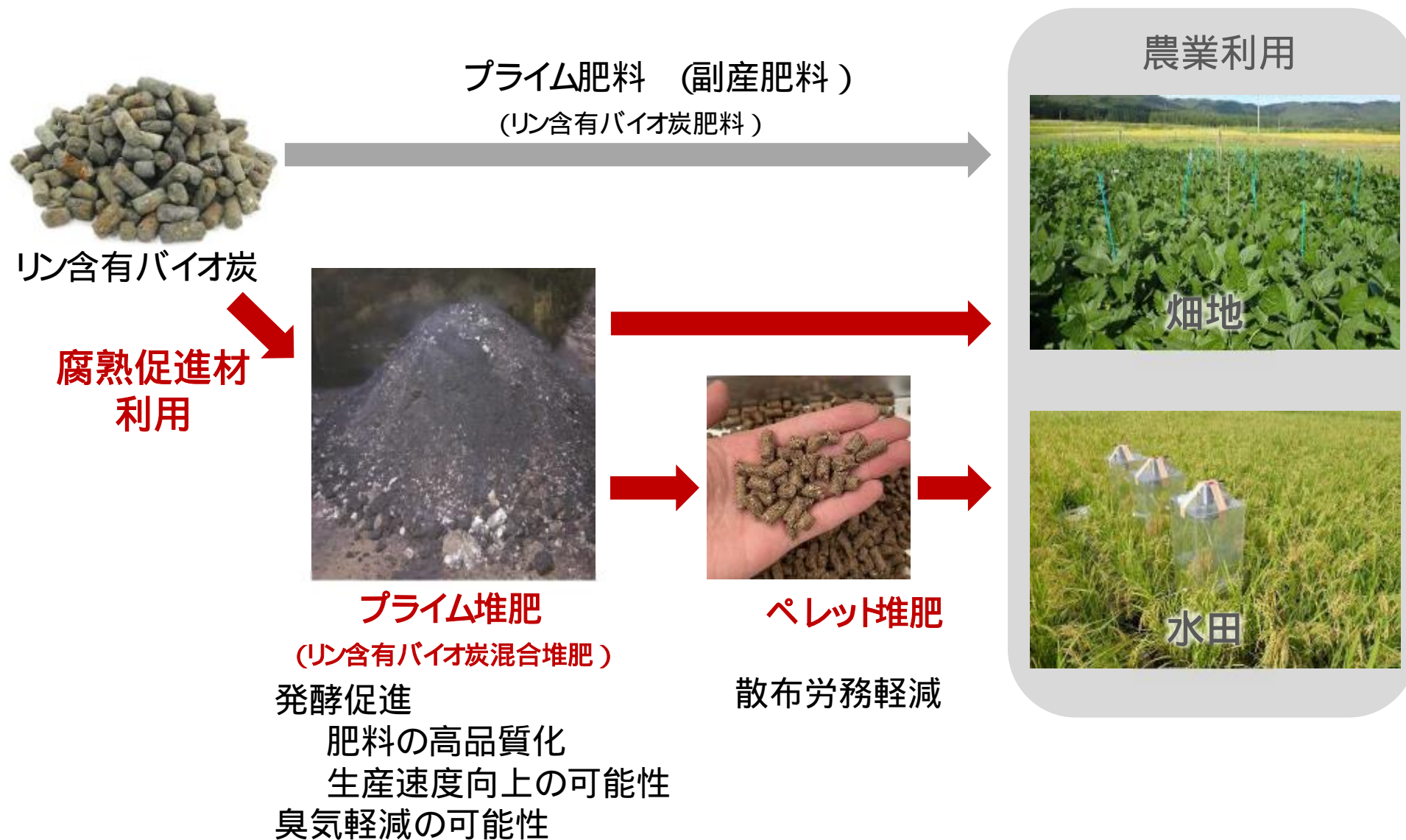
プライム肥料 2号 (福山市)
令和 7 年 4 月 10 日
肥料登録



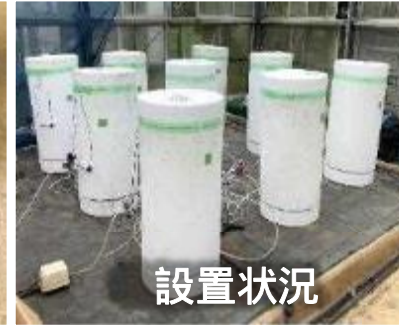
プライム肥料®
pH: 8.5~ 9.5

堆肥化における腐熟促進材としての利用検討

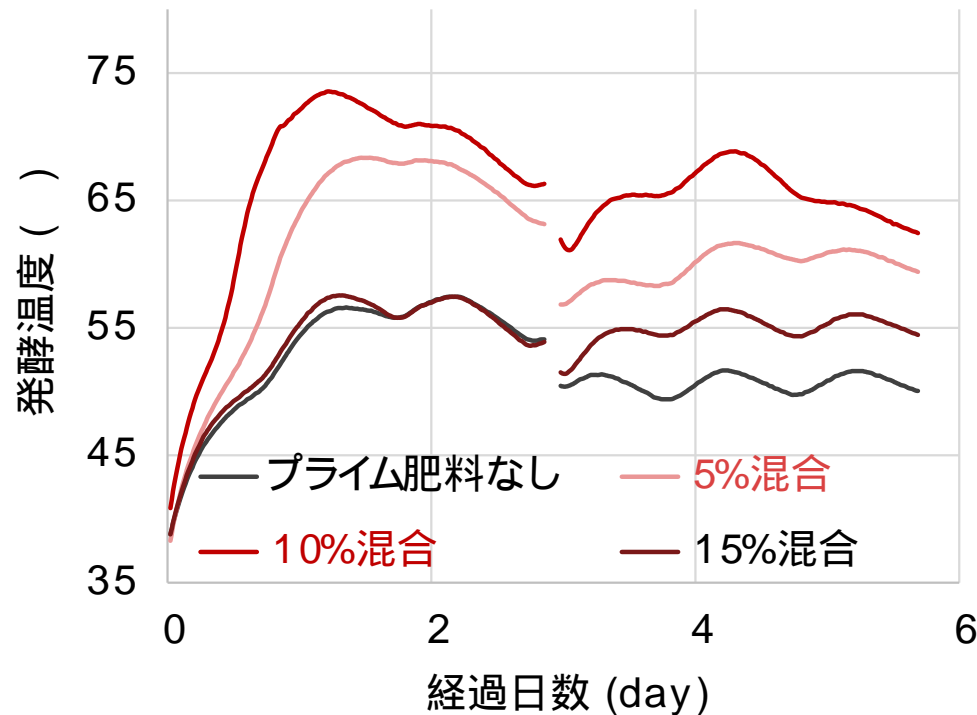
肥料としての直接利用だけでなく、堆肥の腐熟促進材としての利用



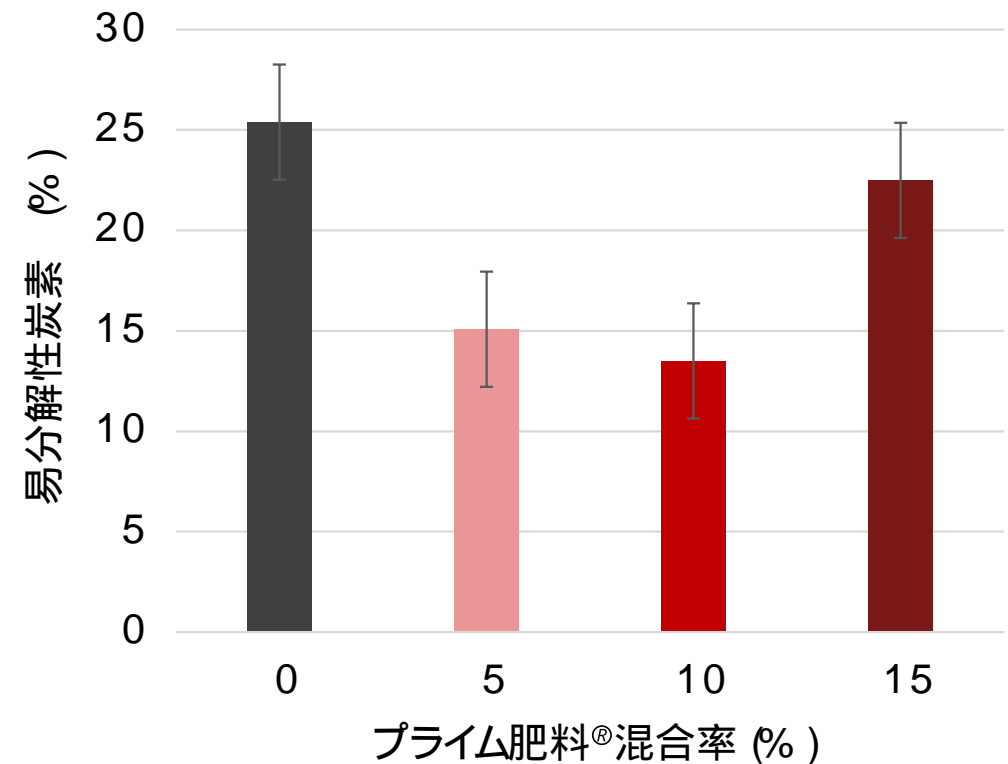
リン含有バイオ炭混合による堆肥の発酵促進効果



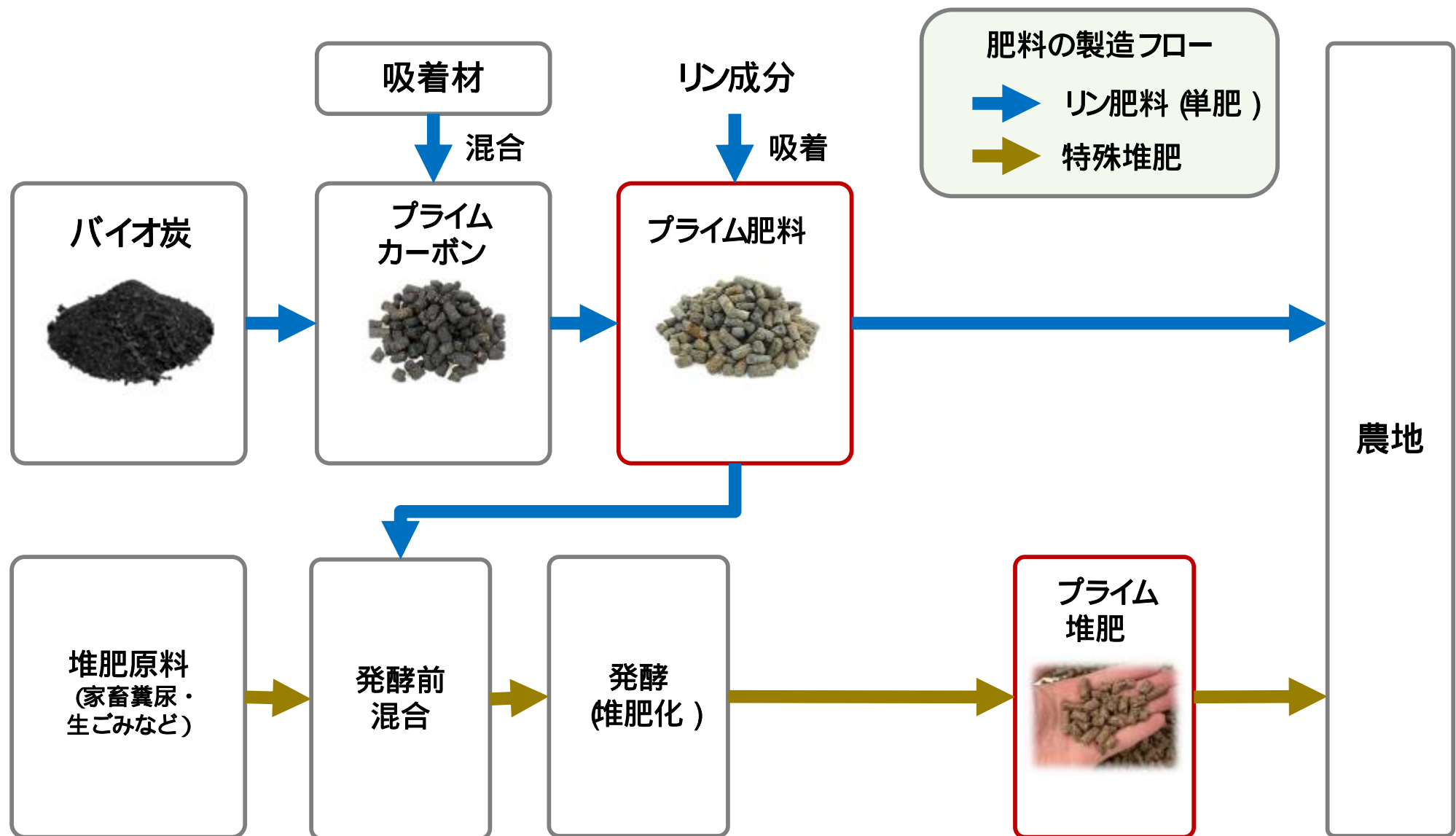
プライム肥料®混合で発酵促進



混合率は5%または10%が良好



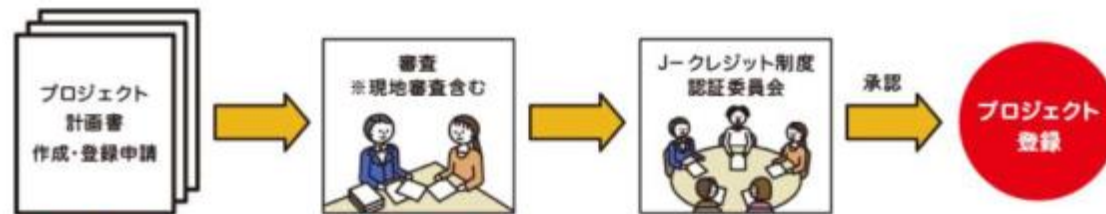
方法論に基づく弊社製品の排出削減量の考え方



J-クレジット制度プロジェクト登録

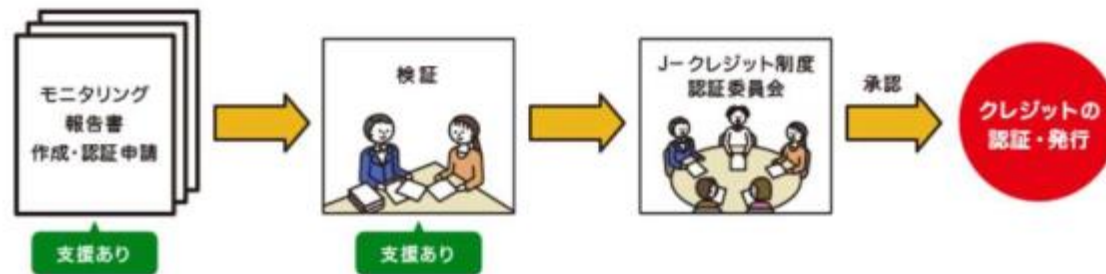
プライム肥料®およびプライム堆肥®は、J-クレジット制度のプロジェクト登録完了

STEP1：プロジェクトの登録



- 1-1プロジェクト計画書の作成
「どんなCO2排出削減 吸収事業 (省エネ設備の導入、森林管理等)を実施するか」
- 1-2審査機関によるプロジェクト計画書の妥当性確認
- 1-3プロジェクト計画登録申請

STEP2：モニタリングの実施



- 2-1モニタリング報告書の作成
STEP1で登録したプロジェクト計画に基づき、排出削減量 吸収量を算定するための計測を行い、その上で計測結果に基づき排出削減量 吸収量を算定
- 2-2審査機関によるモニタリング報告書の妥当性確認
- 2-3クレジット認証 発酵申請

J-クレジット制度 J-CREDIT SCHEME プロジェクト登録証

プロジェクト番号： JCS-PJP00348

プロジェクトの名称

バイオ炭を原料とする肥料の農地施用による CO2削減事業

プロジェクト実施者名

株式会社フジタ

代表者氏名

高森 直樹 様

上記プロジェクトについて申請内容を審議した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、J-クレジット制度実施要綱に基づき、J-クレジット制度に登録いたします。

登録申請日：2024年12月12日

J-クレジット制度 制度管理者
経済産業省・環境省・農林水産省

実証研究の事業展開

第3期びんご圏域ビジョン」を推進する重点プロジェクトに位置づく事業の1つとして本事業を展開

(3) 重点プロジェクトの産学官民連携事業

① 稼ぐ力の向上プロジェクト

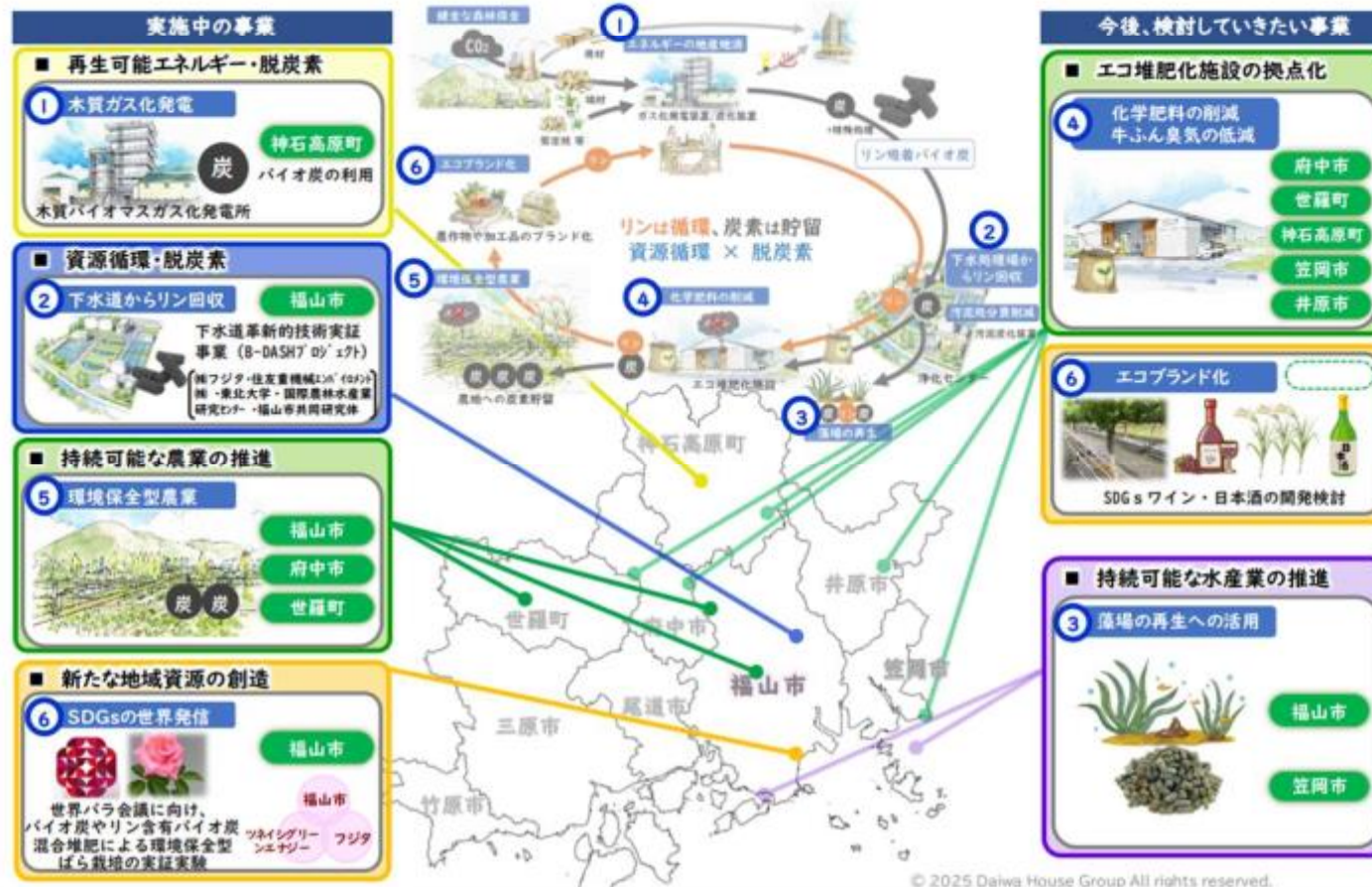
ア 資源循環を活用した地域経済の活性化

「資源循環・地域資源・脱炭素」モデル構築事業【行政・民間】

- 植物の生長に必要な3大栄養素の1つである「リン」は、海外輸入に依存
- 下水汚泥の脱水ろ液から回収した「リン」を含む「リン含有バイオ炭肥料・堆肥」を生産し、圏域内の農作物等に活用
- バイオ炭由来の肥料を田畑に使用することで農地への炭素貯留(カーボンマイナス)となり、圏域の脱炭素化にもつながる

※下水道革新的技術実証事業
(B-DASHプロジェクト)を活用

- 循環図の2に該当する事業
- 国交省の令和5年度補正で採択
- 国総研から下水道革新的技術に関する研究を受託
- 実証期間は令和6～8年度の3年間



主なスケジュール

2024年度

準備・調整

- 連携市町・事業者調整
- リン回収・肥料生産の施設建設

2025年度～

実証開始

- 肥料・堆肥の試作
- 農産物への活用

市町や関連事業者と議論しながら、地域資源への活用拡大など、資源循環型の圏域づくりを推進



Thank you.

www.fujita.co.jp